



## 予選レポート 2009/8/29 Rd-7 オートポリス

2006年開催以来3年ぶりとなるオートポリス。九州唯一の、阿蘇の山々に囲まれたサーキットは、夏から秋の変わり目の清々しい快晴に恵まれた。

前戦ツインリンクもてぎ以降解析を続け、ライアン選手、伊沢選手に、全く別の方向性を持つセットアップを施したチームは、フリー走行開始と同時にコースインし、積極的に周回を重ねた。

ノックアウト第1予選、フリー走行で確認したセットを施した2台は開始とともにコースイン。まずは中古タイヤで状況確認したのち、残り時間3分でアタックに入る。

セットアップに小変更を行ったライアン選手は6番手、伊沢選手は1番手で幸先良く第2予選に進む。

さらに攻めの姿勢でセットアップを変更した2台は、タイミングを見計らいコースイン。ライアン選手はややバランスを崩したものの6位、伊沢選手はトップから100分の8秒遅れの僅差で2位。2台揃って第3予選に駒を進めた。

トップ8を決定する第3予選。満を持してアタックを開始したライアン選手は5番手タイムを計測、しかしタイミング悪くスピン車両の黄旗区間を通過することとなり、規則によりタイム計測が採用とならず、7位となった。

伊沢選手は若干バランスを崩すも果敢にアタックしたが、僅かに0.2秒届かず2位で予選を終えた。

**40:** リチャードライアン選手 予選7位 (第1予選6位、第2予選7位、第3予選7位)

フリー走行のテスト結果から得たセットアップはまずまずの仕上がりで、過去数戦と比較して大きく前進できたと感じています。まだまだ開発の余地があり、伸び代は大きいですね。最後のアタックでは、第1コーナーでミスもあり、さらにタイミング悪く黄旗区間を通過することとなってしまい、タイム不採用により7位で終えたのは不運だし残念ですが、明日は2台揃っての表彰台をターゲットに集中して臨みます。

**41:** 伊沢拓也 選手 予選2位 (第1予選1位、第2予選2位、第3予選2位)

これまで色々とテストと開発を重ねてきましたが、やっと戦える状況になったと感じています。ポールポジション獲得とはいきませんでした。まだまだ不十分な状況で2位獲得できたのは素直にうれしいです。

とはいえ、これは通過点で、最終的な結果は明日の決勝。チームとも戦略を討議して、優勝だけを目指して前進あるのみです。